

令和5年7月13日
東海旅客鉄道株式会社

東海道新幹線 掛川駅～豊橋駅間における停電及び異音感知の原因について

1. 発生日時 ①停電 令和5年7月12日 12時25分
 ②異音感知 同日 13時16分
2. 発生場所 東海道新幹線 掛川駅～浜松駅間
 ※①の住所：静岡県浜松市中区木戸町（きどちょう）
 ②の住所：静岡県浜松市中区向宿町（むこうじゅく）
3. 概況 ①停電
 (1) 12時09分頃、静岡駅～掛川駅間において、架線を吊るための金具であるドロツパが脱落し、ひかり509号のパンタグラフに引っ掛かる。
 (2) 12時15分頃、静岡駅～掛川駅間において、脱落したドロツパを介してパンタグラフと車体間がショートし、瞬間的な停電が発生（送電を行い、異常がなかったため運転継続）
 (3) 12時25分頃、掛川駅～浜松駅間において、脱落したドロツパを介してパンタグラフと車体間がショートし、停電が発生。その後、ひかり509号は車両点検のため浜松駅まで移動。
 (4) 12時55分頃、浜松駅にて、ひかり509号の車両屋根上の点検を開始し、脱落したドロツパの一部を発見
 ②異音感知
 (5) 13時16分頃、掛川駅～浜松駅間（(3)の発生箇所付近）において、後続ののぞみ29号の運転士が異音を感知。その後、異常なく安全の確認がとれたため運転再開
 ※昨晚の点検で、脱落したドロツパの一部を、異音を感知した地点付近で発見
4. 状況 別紙のとおり
5. 原因 ①停電
 ドロツパを介してパンタグラフと車体間がショートしたため（ドロツパが脱落した原因は調査中）
 ②異音感知
 後続の列車に、脱落したドロツパの一部が接触したため
6. 設備履歴 取替年月 平成25年10月
 直近検査 令和 5年 7月7日（異常なし）
7. 対策
 全線のドロツパを至近距離にて緊急点検し、同時に、ドロツパ脱落の原因の究明を進めます。

停電及び異音感知の状況

(4) 12時55分頃

ひかり509号の車両屋根上の点検を開始し、脱落したドロツパの一部を発見

(2) 12時15分頃

脱落したドロツパがひかり509号の車体と接触し、瞬間的な停電が発生(運転継続)

(1) 12時09分頃

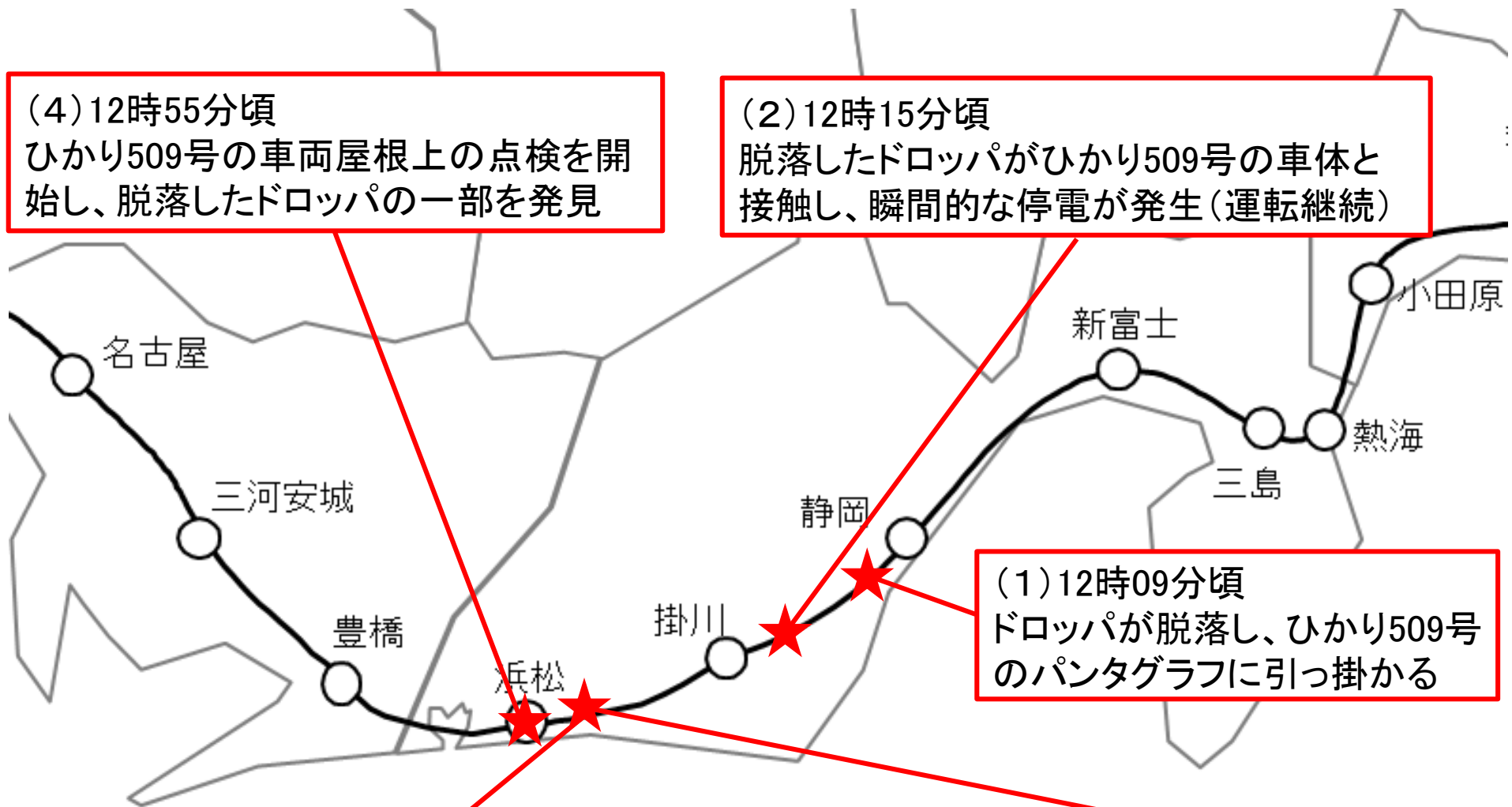
ドロツパが脱落し、ひかり509号のパンタグラフに引っ掛かる

(5) 13時16分頃

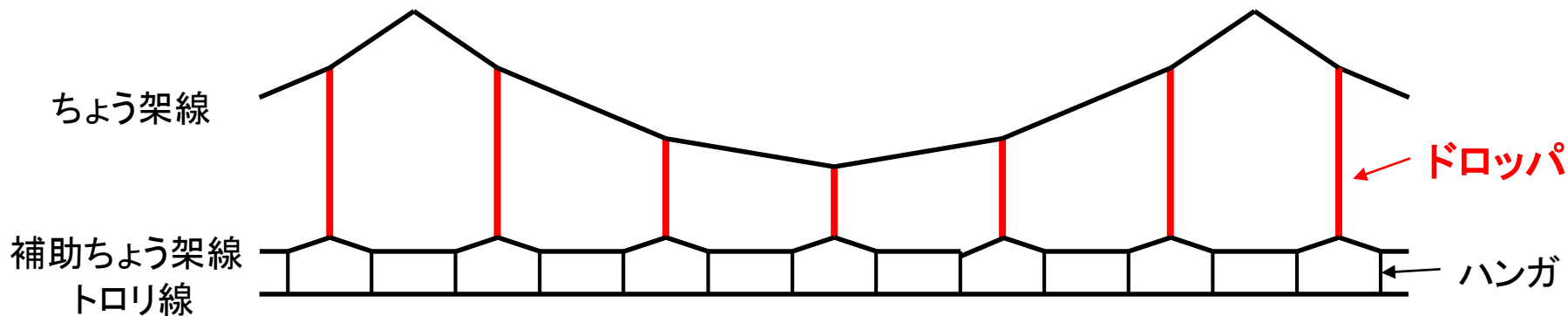
後続の、のぞみ29号の運転士が異音を感知
※昨晚の点検で、脱落したドロツパの一部を異音感知した付近で発見

(3) 12時25分頃

脱落したドロツパがひかり509号の車体と接触し、停電が発生



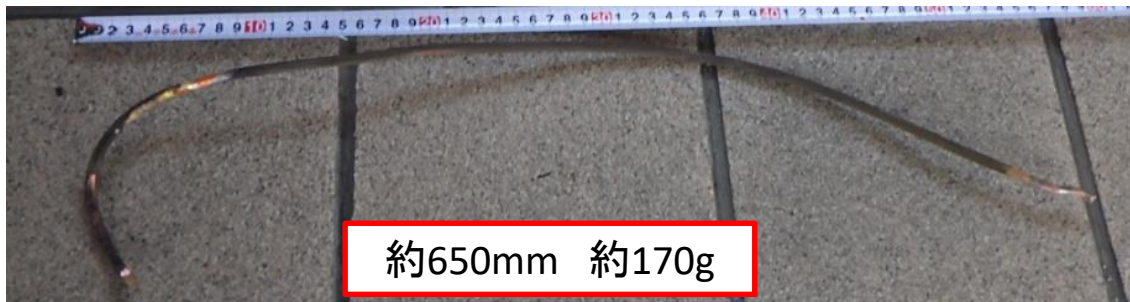
脱落したドロツパの状況



架線の構造(イメージ)



正常のドロツパ
(当該箇所は長さ1,600mm)



車両の屋根上で発見したドロツパの一部



線路上で発見したドロツパの一部